

ひばりが丘高校 雲雀祭&公開授業

ひばりが丘高校(金子寛校長)では、8月31日(金)、第3回「雲雀祭」、9月10日(月)、11日(火)には、今年度2回目の授業公開が行われました。

3回目を迎えた雲雀祭は、昼間部、夜間部と、それぞれに行われ、本年は2学期始業直後より、全校生徒が「創作授業」に取り組むなど、生徒・職員が一丸となって、充実した学園祭を目指しました。

冒頭、「各自の(取り組みの)達成感を、自信につなげよう!」と、金子校長先生より生徒一人ひとりに向けての熱い思いが話され、次に、「生活体験発表大会」が始まりました。発表者の多くが、「友との出会い」、「人との繋がりの大切さ」を述べ、一方、それに応えるかのように、真摯に聴こうとする生徒たちの姿勢が印象的でした。「創作授業成果発表会」では、プロジェクターを使用しての紹介、それを受けての207教室の展示。卒業予定者一人ひとりがハガキ大の木への刻字を行う校歌詞プレートの作成、絵本作り、切り絵、さらには、小説の創作、「吉田のうどんの歴史」



創作授業の成果の数々

の発表と、多岐にわたり、見応えのある内容でした。「芸術鑑賞会」は、市岡裕子氏による講演会の「ゴスペルソングに救われて」でした。

保護者や教員等を対象とした授業公開は、昼間部、夜間部それぞれで行われ、出席した中学校の教員や保護者は、生徒たちが真剣に取り組む姿を参観しました。各クラスの授業のほとんどが少人数で、創意工夫された教材、指導法に基づき、ゆったりと丁寧に授業が進められていました。

理科総合Bの授業では(写真下)、「地殻変動」を取り上げ、具体例を挙げてのビジュアルな展開、わかりやすい解説に、熱心に授業に取り組んでいた生徒たちは引き込まれ、国語総合の授業では二人の先生方が、漢文で論語を扱い、きめ細かく、定着の徹底を期すべく、反応を見ながら確認しつつ熱心な指導をされていました。



「科学の祭典 in 都留高SSH」

都留高校(川村直廣校長)では、9月29日(土)、今年で3回目の「科学の祭典」(北都留地域教育推進連絡協議会共催)が実施され、地域の小・中学校の児童生徒・保護者など120余名が参加しました。

この「科学の祭典」は地域の子供たちに、「科学への興味・関心」を高め、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として、「科学の楽しさを伝える」ことを大きな目標として企画された行事です。

生徒たちの進行による開祭式に続き、物理・化学・生物の3分野に分かれた「チャレンジブース」、次いで、地学や数学などをも合わせての14の「あそびの広場」のコーナーが設けられ、同校SSHの1・2年生や理科・数学の先生が子供たちに実験やものづくりを、熱心に指導しました。

写真右は、「魔法のカード」のブースで、4枚のカードの中から自分の選んだ好きな数字を1つ当ててもらおうというものです。不思議なことに…。



写真下は、風船とCDで作ったホバークラフトを動かしているところです。床をスイスイと自由自在に動いていきます。



写真下は、物理分野の「空気砲」の実験風景です。ペットボトルや段ボールを使った空気砲で、紙を飛ばしたり、ロウソクの火を消したりすることができます。

参加の児童生徒はもとより、保護者までも、高校生

たちと交流を深めながら、不思議さ、楽しさを体感し、和やかな中にも知的な時間と空間を共有した有意義な1日となったことと思います。

都留高校の先生方、生徒のみなさん、ほんとうにありがとうございました。



第9回 三遊亭小遊三師匠独演会

テレビやラジオでお馴染みの三遊亭小遊三師匠の独演会が、「アピオ都留」で9月23日(土)、開催されました。師匠は地元大月市出身で、同級生・同窓生等が組織する後援会のご厚意により今年も、北都留地区と都留市内の中学生50名が招待されました。

前座、二つ目、真打ちと展開し、中入りを挟んでギター漫談、取りに真打ちの小遊三師匠が登場、軽妙にして上質な話芸に聴衆は惹き付けられ、時間の過ぎるのを忘れるほどでした。

終了後には抽選会。半被、扇子、座布団と、この企画ならではのグッズに会場は大いに沸きました。参加した中学生の一人は、「小道具を上手く使って、表現したいことがそのまま表現できてすごいと思いました。」と、落語を目の前で聞く楽しさを語ってくれました。公演後には、地元につながる芸能の笹子追分人形芝居により、「傾城阿波の鳴門」も上演されました。



抽選会での師匠

町長さんと語る会

9月27日(木)、富士河口湖町校長会、同児童生徒連絡協議会が運営する「町長さんと語る会」が、町役場コンベンションホールにて開かれました。町内の9小学校、5中学校、1支援学校の児童会、生徒会の役員の児童生徒と顧問の先生、町、教育委員会等行政側、合わせて約70名の参加がありました。



会の様子

司会や進行、議長も児童、生徒たちにより行われ、内容は、各学校の活動の様子の発表、町に関わるクイズ、次いで、「町長さんとみんなで語ろう」では、日頃、考え、感じたりしていることを町長さんに尋ねたり、教えてもらったり、各校の宝物(誇れるもの)、今取り組んでいることの紹介、意見交換が活発に行われました。



町長さんからの答えは・・・

勸学院北都留学園・上野原小連携講座

勸学院北都留学園が主催する、「勸学院北都留学園・上野原小学校連携講座」が、9月28日(金)、上野原市文化ホールにて開かれました。この講座のねらいは、同じ講座を受講し、学習の交流を深め、自然環境についての理解を深め、環境問題に取り組むきっかけをつくる、というものです。講座は、自然写真家・環境カウンセラーの牛山俊男氏の「宇宙から見た地球環境」でした。進行も勸学院生、小学生が手分けして行い、ほほ笑ましいものでした。



真剣に聴く勸学院生

北都留子どもの交流会

9月30日(日)、ゆずりはら青少年自然の里(上野原市柵原)で、「北都留子どもの交流会」(上野原市育成会連絡協議会・上野原市教育委員会共催)が開かれました。「子どもの活動を推進するため、その指導者の育成および子どもの活動の援助」を目的とし、内容はバーベキューとクラフト作り、昔の遊び等です。火おこしから、バーベキュー、やきそばを作り、クラフト作りは、鑄造でアクセサリーを、昔の遊びでは、メンコ、ベーゴマ、お手玉と、盛りだくさんで、北都留地区小中学生23名の参加があり一生懸命な取り組みでした。



クラフト作り

第2回陸上競技記録会

10月6日(土)、小中学生140名あまり、役員・スタッフ約50名の参加にて、アスリート実技講習会が大月市営陸上競技場で開かれ、当日は、大月アスリートクラブが企画する「陸上競技ステップアップ講習会」-ホップ「動きづくり講習会」、ステップ「陸上競技講習会」、ジャンプ「冬期強化合宿」、のステップに相当するものです。受付で記録証が渡され、始めの会の後、しっかりとウォーミングし、10時から、トラックとフィールドの同時進行で、記録会が始まりました。1人が何種目に出場してもよく、参加者のテキパキとした動きが印象的でした。11時半からは、「一流選手によるデモンストレーション」があり、トップアスリートの模範演技にうっとりとして見とれていました。記録会終了後、各種目の上位3名にはメダルが贈られ、その栄誉が讃えられました。



親子でスタート!!

「明日の風」掲示板 (北都留)

- ☆ 一人一花フォトライブ開催
期日: 11月5日(月)~12月21日(金)
場所: 北都留教育会館 9:00~17:00
- ☆ 第6回アスリート実技講習会
期日: 11月10日(土)9:00~
場所: 大月市営陸上競技場
- ☆ シオジ 森の学校
期日: 11月10日(土)9:00~
場所: 大月市真木、小金沢
- ☆ 都留高等学校 Author-Visit 2007
期日: 11月16日(金)13:30~15:00
場所: 都留高等学校体育館3階アリーナ
講師: 西澤潤一(首都大学東京 学長)
演題: 「生きる気概~私のこれまでと皆さんのこれから~」
* 詳細は、都留高校(0554-22-3125)へ。
- ☆ 伊藤知治教士剣道教室
期日: 11月23日(金)10:00~
場所: 大月東中学校

「富士の光」掲示板 (南都留)

- ☆ 南都留地域教育フォーラム
期日: 11月2日(金)13:00~
場所: 富士吉田市立明見小
- ☆ 富士吉田市長さんと話す会
期日: 11月9日(金)14:30~
場所: 富士吉田市民会館6階小ホール
- ☆ ふじざくら祭
期日: 11月10日(土)9:25~
場所: ふじざくら支援学校
- ☆ 富士吉田市内私立幼稚園園児の集い
期日: 11月16日(金)10:30~
場所: 富士五湖文化センター
- ☆ 都留子ども議会
期日: 11月19日(月)14:00~
場所: 都留市役所議会場
- ☆ 第3回南特連学習会
期日: 11月29日(木)15:00~
場所: ふじざくら支援学校

----- 上記掲示板についての問い合わせ先 -----

富士・東部教育事務所地域教育支援担当

TEL 0554-45-7841 FAX 0554-45-7823

